

新型コロナウイルスワクチンは 打った方がいいの？

まだ終息が見えない新型コロナウイルス感染症ですが、日本国内でも医療従事者や一部の高齢者でワクチン接種が始まっています。3月24日現在で約74万人が1回目の接種を終え、約3万5千人が2回目の接種を終えています。厚生労働省は副反応の報告を収集し公表しています。その内容では、3月11日までのアナフィラキシーとして報告された事例は37例あり、適切な治療が行われ軽快、回復されています。軽微な副反応は注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。これら症例を検討した結果、安全性において重大な懸念は認められないと評価されています。

世界全体では、3月23日現在で約4億6077万回の接種が行われています。また、人口約920万人のイスラエルでは、16歳以上の全住民の半数を超える人に1回目の接種が終わり、2回目の接種が終わった人も360万人を超えたとのことです。この状況から接種済みの集団は未接種の集団よりウイルス感染による発症が94%少なく、重症化するケースも92%低下したデータが出ています。



16歳未満のお子さんへの接種については今のところ認められていませんが、海外では12歳以上の小児の臨床試験が始まっています。

まずは、大人がワクチン接種することで間接的ではありますが、子どもたちを守ることもなると思います。

もちろん接種する・しないは自由意志で選択できますので、強制ではありません。しかしながら、感染してしまった場合の決定的な治療薬がない中で、これだけ効果が認められているワクチンは、今後の人類の活動にとって大変有力な武器となっています。接種機会が巡って来たときは、厚生労働省の最新情報を確認していただき是非前向きに考えてみてください。ただ、他のワクチンと同様ですが、明らかに発熱している方、重い急性疾患にかかっている方、ワクチンの成分に対して重い過敏症の既往歴の有る方は接種できませんのでご注意ください。

子どもを守るために
ワクチン接種しました



薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5 <http://www.gifuyaku.or.jp> 岐阜県薬剤師会 検索